

新郎父挨拶

昨秋より広報委員に加わった。これは腐れ縁なのだ。40代になってから3年ごとに行っていた大学のクラス会がコロナで中断となっていたが、昨秋5年ぶりに開催された。久しぶりの再会に盛り上がり、2次会から3次会への移動中だったか、Nさんから声をかけられた。「ねえねえたまちゃん、県医師会の広報委員に入ってくれない?」。学生時代のパワーバランスから断る術もなく末席に加わらせていただいた。

さて、初めての「飄々」の執筆、何を書こうか。一昨年、昨年と縁あって立て続けに二人の息子が結婚した。披露宴といえば主役は新婦だが、新郎新婦の二人に続き、新郎父挨拶が自分としては大役だと思っている。結婚が決まってから相当頭を悩ませた。ここの読者はとっくの昔に済ませた方が多いであろうが、これからの方へ向けてそのことを書いてみようと思う。まずは長男の時の挨拶。妻から妊娠したことを告げられた時の気持ち、小さくか弱い生まれたての赤ん坊を見て命についていろいろ考えたこと、成長する過程で交わした言葉、新婦との出会い、そして少し笑いも取りたい・・・と四苦八苦してどうにか原稿が完成。必死に暗記して無事に大役を果たしたが、あまり笑いは取れなかった。しかも7分ちょうども掛かっており、「ちょっと長かったね」と。少し凹んだ。

半年と明けず次男の結婚式。“メリハリをつけて短く”を念頭に原稿を練る。ふと思いついたのがYouTubeを見ること。あるある、さまざまな新郎父挨拶の動画がアップされている。中島みゆきの「糸」をアカペラで朗々と歌い上げる人、と

飄

々

広報委員

田村 高志

ても原稿を用意しているとは思えない当日の出来事から話し始め、聴衆の心を鷲掴みにしてしまう人。参考になるどころか一気に意気消沈してしまった。流行りのChatGPTも使ってみる。「披露宴での新郎父挨拶を考えて」。YouTubeよりよほど参考になる。大まかな挨拶の流れ、使うべき言葉などがわかり、これはオススメ。また3回の結婚式を経験されている飲み屋で知り合った、とある会社の社長さんにも相談してみる。師曰く「短ければ短いほどよい」。確かに。兄弟のエピソードや新婦との出会い、学生時代の部活のを中心に、当日起こった出来事をアドリブで盛り込んでみた。7分7秒。短くなるどころか伸びてしまった。

結論。普段それほどスピーチ慣れしていない人が、いきなり珠玉の言葉を紡いで聴衆の心を掴むことなんてできるわけではない。自分にできることを淡々と。至極当たり前の現実を思い知らされた経験だった。あとは末娘とバーজনロードを歩くこと。真っ直ぐ前を向いて胸を張って、毎日徒歩通勤に励むのみだ。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)
TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>
新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。